



倒立フロントフォーク 30正立フロントフォーク用 LCD スピードメーター・タコメーターキット 取扱説明書

商品番号 : 09-01-3321
 : 09-001-07 (メータステ-セット)
適応車種 : モンキー・ゴリラ
フレーム番号: モンキー Z50J-2000001 ~ / AB27-1000001 ~
 : ゴリラ AB27-2500001 ~

・この度は、TAKEGAWA の製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用になられる前に必ずこの説明書をお読み置き、内容を把握下さいます様お願い致します。

正しく安全に御使用頂くために

取り付け前に商品の内容をご確認下さい。万一お気づきの点がございましたら、お買い求め頂いた販売店にご相談下さい。
このキットは当社倒立フロントフォークキット 30正立フロントフォークキット及び、ヘッドライトキット(09-03-071)取り付け車専用用品です。ノーマルヘッドライトは取り付け出来ませんので、ご注意下さい。
このキットは、12V車専用です。6V車での使用は出来ません。又、スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーC D Iを除いて、他の点火系部品との併用はなさないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。
当キットに付属している温度センサーを使用する場合、オイルドレンボルトアダプター(07-04-054)が別途必要になります。
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

- ・当LCDメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。
表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。なるべく液晶部分に直射日光が当たらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る等支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。
- ・本商品は完全防水ではありません。湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に水分が浸入して画面が曇ってしまう可能性があります。

～ 特 徴 ～

スピードメーターはオドメーター、トリップメーター付き。デジタル表示で250km/hまで測定出来ます。
タコメーターは精度の高い電気式でデジタル表示を採用し、油温計を標準装備。最高表示回転数30,000rpm。最高表示温度150。耐腐食性に優れたステンレスボディー。ラバースマウント式により振動低減させています。
[]仕様メーターはLED夜間照明の発光ムラがほとんど無く、輝度も大幅にアップ。さらに、液晶の表示性能も合わせて向上していますので視認性が格段に良くなっております。

⚠ 注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・取り付け作業は、必ずエンジン冷間時(35℃以下)に行ってください。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行った場合、火傷の原因となります。
- ・作業を行う際は、安全に十分注意し作業に適した工具を用いて行って下さい。
- ・各ボルト、ナット類は必ずトルクレンチを使用し、指定トルクで締め付けて下さい。
- ・本品には運転者に注意を促す速度警告灯がついておりませんので、速度超過には十分注意をし、安全運転を行ってください。
- ・走行前は、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。

⚠ 警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で行ってください。

~ 商 品 内 容 ~



番号	商品内容	数量
(1)	コンビネーションスイッチカバー	1
2	55LCD スピードメーター	1
3	55LCD タコメーター	1
(4)	サブコード(黒)	1
(5)	サブコード(緑)	1
(6)	ボタンヘッドスクリュー 8×10	2
(7)	タッピングスクリュー 4×12	2
8	温度センサー	1
9	2Pスピードメーターコード	1
10	3Pタコメーターコード	1
11	ピックアップコード(イグニッションコイル用)	1
12	ピックアップコード(ハイテンションコード用)	1
13	熱収縮チューブ	1
(14)	メーターステー	1
(15)	ブレンワッシャ 5×18	8
16	カラー	4
17	クッションラバー	4
18	フランジ六角ナット 5mm	4
(19)	インシュロックタイ	2
(20)	エレクトロタップ	1
(21)	LEDニュートラルインジケーターステップランプ	1
(22)	LEDターンインジケーターステップランプ	1
23	スピードメーターケーブルASSY . 670mm	1

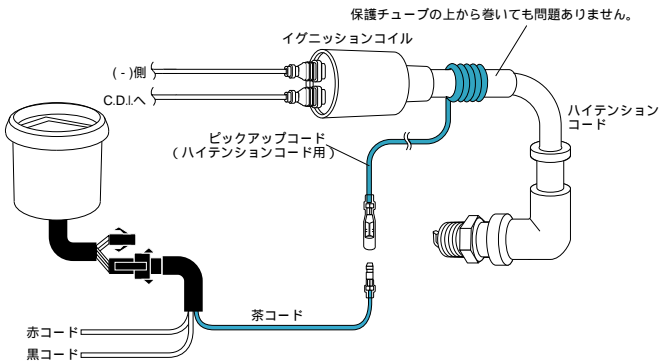
() の番号はメーターステー・セットの内容を示しています。

~ 取 り 付 け 要 領 ~

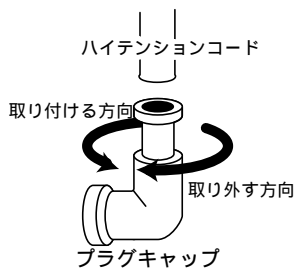
- メーターステーにクッションラバー 4 個を取り付け、カラーをクッションラバーにそれぞれ差し込みます。
- 電気式タコメーターのネジ部にブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れメーターステー右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れ、フランジ六角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N ・ m (0 . 5 k g f ・ m)
- スピードメーターネジ部にブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れメーターステーにスピードメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりタコメーター同様にブレンワッシャを入れフランジ六角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N ・ m (0 . 5 k g f ・ m)
- メーターステーにニュートラルインジケーターステップランプ、ターンインジケーターステップランプをそれぞれ取り付け、締め付けます。
締めすぎに注意して下さい。
- コンビネーションスイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリューでカバーを取り付けます。ノーマルライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外し、ロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。
ライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で 2 箇所ロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。
- トップブリッジ裏面のヘッドライトステーとトップブリッジの間にメーターステーをボタンヘッドスクリューで取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：1 2 N ・ m (1 . 2 k g f ・ m)
- スピードメーター、タコメーター、ターンインジケーターステップランプのそれぞれの黒コードをサブコード (緑) に接続します。サブコード (緑) をヘッドライトケース内のワイヤーハーネス緑コードに接続します。
- スピードメーター、タコメーターのそれぞれの赤コードをサブコード (黒) に接続します。サブコード (黒) をヘッドライトケース内のワイヤーハーネス黒コードに接続します。
- タコメーターの茶コードにピックアップコード (イグニッションコイル用) を接続し、イグニッションコイルまで取り回します。イグニッションコイルの黒 / 黄コードを外し、ピックアップコードをそれぞれ接続します。
- ターンインジケーターステップランプの黒コードをヘッドライトケース内のワイヤーハーネス灰コードにエレクトロタップを用いて接続します。赤コードをワイヤーハーネス黒コードに接続します。エレクトロタップは 6 P カプラーのメインハーネス側に接続して下さい。
- ニュートラルインジケーターステップランプの黒コードをヘッドライトケース内のワイヤーハーネスの若葉 / 赤コードに接続します。ニュートラルインジケーターステップランプの赤コードをワイヤーハーネス黒コードに接続します。
- 温度センサーを使用する場合、オールドレンボルトアダプター (0 7 - 0 4 - 0 5 4) かオイルクーラーホース (内径 8 mm) 用アダプター (0 7 - 0 4 - 0 5 2 1) が別途必要になります。温度センサーのスティック部分を所定の場所に取り付け、LCD タコメーターの 2 P カプラーまで取り回し、接続します。たんだ線は運転に支障がないようにインシュロックタイを用いて固定します。
- スピードメーターケーブルを接続しヘッドライトユニットを取り付け、エンジンを始動し各ランプの点灯状態とタコメーターの作動確認を行ってください。タコメーターの作動に問題がある場合は、『タコメーターの作動が安定しない場合』に進んで下さい。問題が無ければ安全な場所で低速走行を行い、スピードメーターの作動を確認して下さい。

タコメーターの作動が安定しない場合

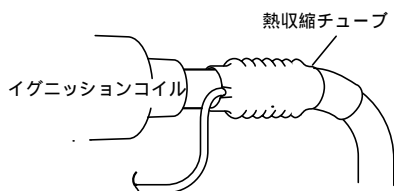
1. 項目9でイグニッションコイルに接続したピックアップコード（イグニッションコイル用）を外し、黒／黄コードをイグニッションコイルに接続して下さい。
2. ピックアップコード（ハイテンションコード用）をハイテンションコードのイグニッションコイルに近い位置で約5周巻きつけ、絶縁テープ等で緩まないように仮止めして下さい。



3. ハイテンションコードからプラグキャップを外して下さい。

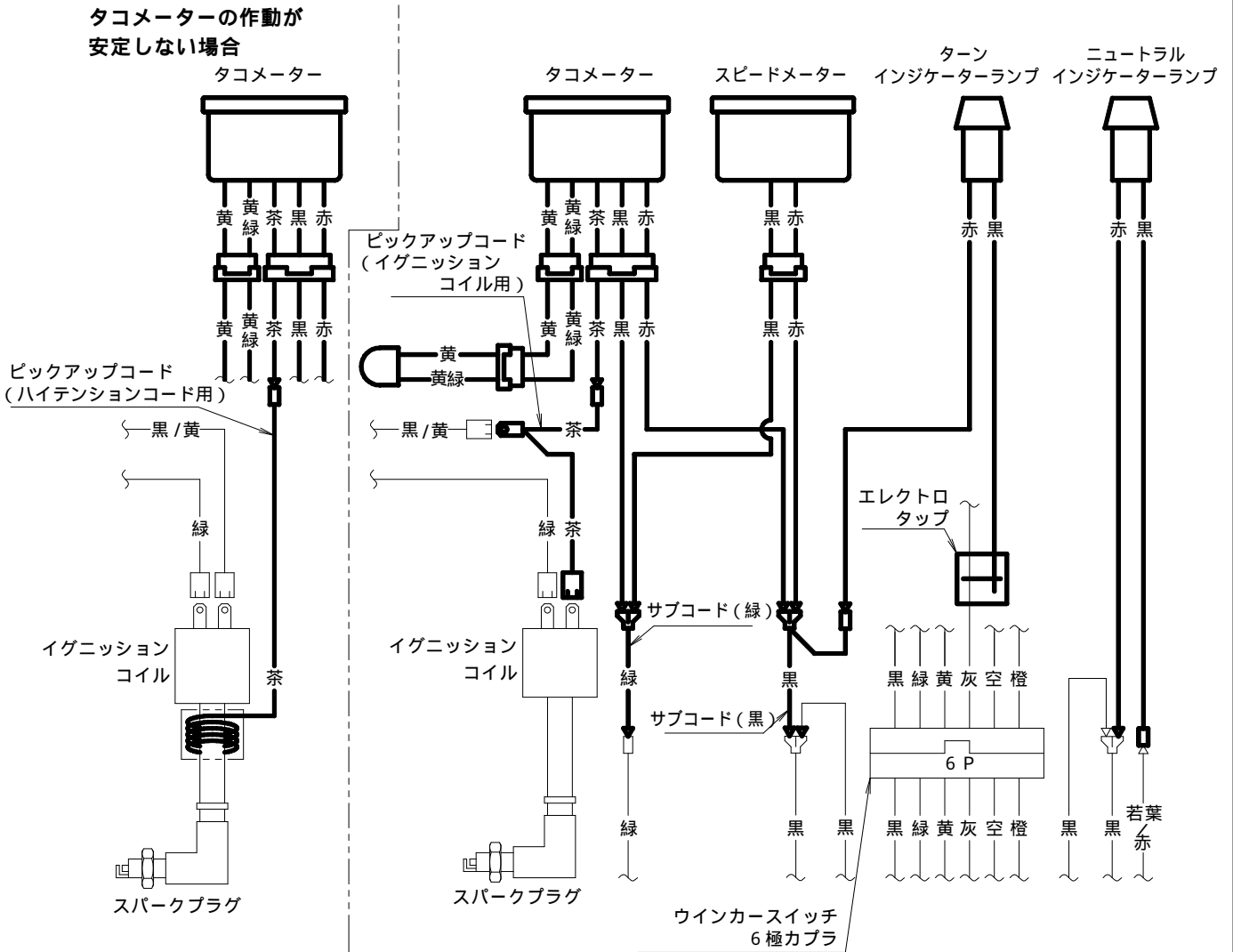


4. 絶縁テープで仮止めした部分に熱収縮チューブを被せるように通しドライヤー等でチューブを熱し、収縮させて下さい。チューブの収縮温度は約90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
警告：タンクにはガソリンがあり、大変危険ですので、ライター等の火を使用し直接チューブを収縮させる事は絶対に止めて下さい。

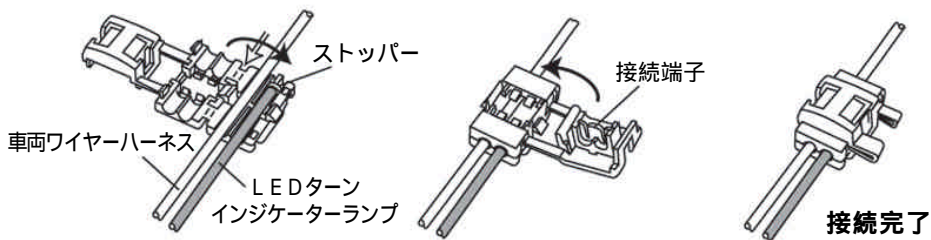


5. プラグキャップをハイテンションコードにしっかりと取り付けて下さい。

～ LCDスピードメーター、タコメーター配線図～



～ エレクトロタップのご使用について～



接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(LED側の配線をしっかりストッパーに当ててください。)

部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

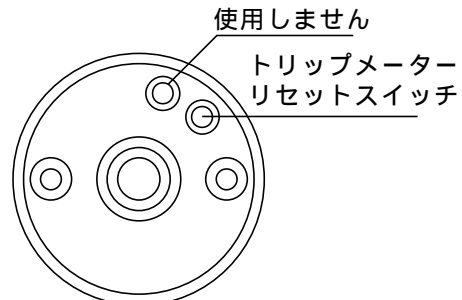
各部の名称と操作方法



スピードメーター
速度表示 (Km/h)

オドメーター
距離表示 (Km)

トリップメーター
距離表示 (Km)



[トリップメーターリセットスイッチ] を押すと、トリップメーターの走行距離が「0」に戻ります。オドメーターをリセットすることは出来ません。

例) 画面はスピードメーター時速 46 Km、オドメーター 326 Km、トリップメーター 326.4 Km、

ご注意下さい

液晶の性質として、長時間、直射日光を受け続けると痛みが発生してしまいます。

なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付けてください。

本製品は完全防水ではありません。

湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

バッテリー、プラグ、配線の状態（取り回しや、接続状況）によってはメーター数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動時に、一瞬数値表示に乱れを生じることがありますが故障ではありません。またメーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、間違った情報を表示してしまう可能性があります。

装着時は各部（特に配線、点火系、バッテリー）の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

バッテリー - 付き車両ご使用に関する注意点 モンキー、ゴリラ

STDメーターの照明用の茶コードへのプラスコード接続は絶対に行わないで下さい。

LCDメーターの電源用コードの色はプラス側が赤コード、マイナス側が黒コードです。

茶コードはエンジン回転数により周波数、最大電圧の変わる交流電源です。

LCDメーターに使用すると、LED夜間照明のショートや誤作動など、メーターとしての機能に支障をきたす恐れがありますので絶対に接続しないで下さい。

正しい配線ではメインキーONでメーターの電源が入ります。

エンジン始動に伴い、メーター電源が入る場合は配線が間違っています。

正しい配線でも充電能力の無くなったバッテリーを使用しますと、過電圧になりLED夜間照明がショートし点灯しなくなるなどの恐れがあります。（LED夜間照明修理不可能）定期的にバッテリー点検をして下さい。